

前立腺肥大発症 仕組みを初解明

福島医大

福島医大医学部泌尿器科
学講座の秦淳也学内講師
(33)と小島祥敬教授(50)、
免疫学講座の関根英治教授
(51)、町田豪講師(38)らの
研究グループは、前立腺肥
大症の発症に働く仕組みを
世界で初めて解明した。新
薬の開発が期待される。
発表は昨年12月30日付。
研究成果は英科学誌「サイ
エンティフィックリポー
ツ」に掲載された。研究グ
ループによると、体内に侵
入した病原体を排除するタ
ンパク質の一種、補体が炎
症を引き起こす作用に着
目。前立腺肥大症の進行の
過程で補体による炎症の増
幅作用があり、症状の進行
に関与していることを明ら
かにした。これまで前立腺
の増殖には男性ホルモンが
関与しているといわれてい
たが、詳しい仕組みは分か
っていなかった。秦学内講
師は「前立腺肥大症は高齢
の患者が多い。治療の満足
度の改善につながってほし
い」と話している。